

光市記者発表資料

令和元年12月18日

●光セレクションを認定 3月28日

「光」の名前を発信するための食べ物土産品を「光セレクション」として認定し、冠山総合公園内のひかり花館などで販売を開始するとともに、パッケージなどに使用できるロゴマークも決定しました。

●大和コミュニティセンターが供用開始 4月1日

岩田駅周辺地区におけるコンパクトシティの実現に向けて、大和支所や図書館分館などを集約するとともに、市営バスの乗り入れを開始するなど利便性と快適性を備えた地域コミュニティの拠点施設として供用を開始しました。

●結婚や出産を“おせっかい”に祝福

改元日である5月1日が休日で大安であったことから、婚姻届を受領する臨時窓口を設けて、市長からのお祝いや記念品の贈呈を行うとともに、10月には、光駅や虹ヶ浜海岸などを舞台に「光と虹のまちぐるみWedding」を開催し、本市で新生活をスタートさせた2人を市民600人でお祝いしました。

また、出産時においても、6月から母子保健推進員が絵本をお届けする「ブックスタート事業」、8月からは、おむつケーキ型の記念品を贈呈する「きゅっと×ハグ〜んのHUGプロモーション事業」を開始するなど、健やかでふれあいのある育児を支援することとしました。

●光総合病院が移転新築して開院 5月1日

急性期医療の中核を担うとともに、良質で心温まる医療を提供する病院として開院し、ひかりぐるりんバスや中国JRバス、防長バスが乗り入れを開始するなど、交通アクセスの整備も行いました。

●小中学校のすべての普通教室へのエアコン設置に着手 7月10日

猛暑により、全国的に熱中症が増加する中、子どもたちの安全と健康を守るため、来年3月末までに、小学校120教室と中学校52教室にエアコンを設置することとしました。

●災害からの着実な復旧と備えの強化

ふるさと農道や大平新市2号線などののり面復旧が完了し、県では島田川の改修工事が進むなど、平成30年7月豪雨による被害からの復旧が着実に進んでいます。

また、次なる災害に備え、避難所の環境整備や非常物資の備蓄などを行うとともに、県の消防防災ヘリコプターの大型化に対応するため、牛島の災害時や島民の

救急搬送時に欠かすことのできないヘリコプターの離着陸場を牛島八幡宮前に移転整備しました。

●未就学児に対する医療費助成の所得制限を撤廃 8月1日

すべての子育て家庭が、安心して子育てできる環境を整備するため、未就学児の医療費助成に係る所得制限を撤廃し、健康保険適用分の自己負担額を助成することとしました。

●「全国自然敬愛サミット 2019」が光市で開催 8月22日

全国 20 自治体が参加してわが国の自然環境を保全し、継承していくための「全国自然敬愛サミット 2019」が開催され、室積地区連合自治会が中学校と連携した清掃活動などの事例を発表しました。

●被災地に広がる「助け合いの輪」

平成 30 年 7 月豪雨では、復旧のために福島県福島市や山口市から職員の派遣をいただきましたが、本年は、台風第 15 号や第 19 号で大きな被害を受けた千葉県横芝光町(友好交流都市)や栃木県栃木市(山口県支援担当自治体)に本市の職員が向かい、復旧活動にあたるなど、被災自治体の復旧を支援しました。

●ノーベル医学・生理学賞受賞の本庶佑氏が市民にビデオメッセージ 10月17日

未来に向けた決意を動画で誓った高校生に対して、研究者として必要な「6つのC」に込めた想いやエールを、市民に向けて健康の秘訣などを語っていただきました。いただいたメッセージについては市のHPに掲載しています。